



養育施設 Dream Train

■設立の背景

1990年代半ばからミャンマー国内では、早急な対応が必要とされる程エイズ感染が問題とされておりました。特に東北部の国境地帯ではアジア第2位の HIV 感染者数を有するタイへの出稼ぎや売春・人身売買が原因となり、HIV 患者が急増し年間約1万7,000人がエイズによって死亡されたそうです。さらに HIV 感染者の増加に伴い、エイズで親を亡くした子ども達も急増し、その子ども達は日々の食べ物に悩み、教育を受ける機会にも恵まれず、差別を受けながらひっそりと生活している状況でした。また地方では、教育・経済的な要因により大人の避妊に対する知識が乏しいため、貧しい家庭でも子どもがたくさん生まれ、産まれた子どもは経済的な理由により他の人に預けられることが多い状況の中、国外からきた人身売買のブローカーなどが子どもたちを売春宿で働かせるため連れ去り、その結果多くの子ども達がエイズを患うという悪循環な環境が続いておりました。

このような現状を知った当団体のミャンマー人スタッフが個人的に13名の子どもの里親となり養育費のサポートをしていましたが、ジャパンハート創設者である吉岡秀人はこのスタッフの里親活動を知り、団体としてより多くの子どもたちをサポートしようと思い立ち2010年11月ヤンゴンに養育施設「Dream Train」を開設しました。

■対象

- ・エイズをはじめ、様々な病気で親を亡くした子ども
(キャリア含めエイズ感染している子どもはミャンマー国内の施設で医療管理のもと生活しており、Dream Train にはエイズ感染の子どもは生活しておりません)
- ・貧困のために人身売買の対象となる危険性の高い子ども
- ・貧困のために教育を受けることができない子ども
- ・虐待を受けた子ども
- ・紛争から逃れ保護された子ども
- ・ストリートチルドレンとして保護された子ども

■場所

- ・DreamTrain はヤンゴンのダウンタウンから北東に車で約30分の場所に
あります。約50M×75Mの土地に70人収容可能な1棟から始まり、
現在は男子棟、女子棟、スタッフ棟、食堂、礼拝堂2棟(仏教、キリスト教)図書・パソコン室の7施設
を有しています。